

尼高齡第10670号
令和2年1月15日

諮 問 書

尼崎市社会保障審議会
委員長 松原 一郎 様

尼崎市長
稲村 和美



高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の改定について

今日、総人口が減少する中、高齢化は進展しており、一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、認知症を有する人など、支援を必要とする高齢者がますます増加していくことが見込まれています。

そのなかで、いわゆる団塊の世代が後期高齢者となる令和7年(2025年)を目途に、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自分らしい生活を続けることができる地域包括ケアシステムの構築を進めており、「高齢者が尊厳を持ちながら、安心して多様な暮らし方を選択できる地域社会の構築」を基本理念とした「第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を平成30年3月に策定し、現在、計画の推進等に取り組んでいるところです。

令和3年度からの新たな計画においては、高齢・障害などの分野をこえて、地域に生きる一人ひとりが尊重され、社会とつながり参画する「地域共生社会」の実現を目指す視点を加えながら、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の推進と介護保険制度の持続可能性の確保に向けて、より一層多様なニーズに対応していく必要があります。

以上のことから、幅広い分野から御審議いただくため、本計画の改定について貴審議会に対して諮問いたします。

以 上
(高齢介護課)